

拓水

題字は 兵庫県三浦会長

3月号
No. 174

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町12-2
発行人 三浦清太
TEL 6685・689 6954
編集 拓水編集委員会
発行日 毎月 30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

第19回 漁村青壮年活動実績発表 兵庫県大会開催

兵庫県及び兵庫県漁業協同組合連合会主催による漁村青壮年活動実績発表兵庫県大会は去る二月九日水産会館において一五〇名が参加し盛大に開催された。
この大会は漁村青壮年の日頃の活動実績を発表し知識の相互交流をはかる唯一の場として毎回盛況を博して来たが今年も十九回目は、盛況のうちに無事終了した。発表の概要は次のとおりであるが二月二十二日開催の全国大会ではこの中から「そでいか釣漁法の観測の研究」が発表された。
特別発表では藤田長義君一氏が「沖合のり養殖試験の体験」と題して有益な体験を、又水試課長田主任研究員より「クルマエビを主体とした栽培漁業について」の特別講義あり午後三時終了した。なお助言並びに審査は県水産課長藤本課長、田寺課長補佐、水試課長長、菅原課長、竹末課長により行なわれた。

私達の水産研究会の活動

昭和二十七年研究会発足以の師として昭和三十一年より来順調に成長を続け、アイ実施しており、イカナゴ蓄養ナメ、マガイ、クルマエビ 養水槽に一月二月にかけ等放流を積極的に行っている。又、イカナゴ飼育はアイ四〇キログラム蓄養し組合員へのナメ、スキ等一本釣漁業 手助けと活動資金調達を行なっている。又、延殖漁業 行っている。



実績発表

四五年度には福良漁協青年部が行ったゴカイ養殖技術を導入し鶴崎川で養殖試験を行い良い結果を得たので本年度も引き続き試験を行う予定である。アイナメ稚魚の放流するから海水浴場の掃除係を行なう。又、イカナゴ蓄養池を利用し黒箱センターよりクルマエビの配付を受け養成放流を行った。更に干尾を養成施設に收容し養成試験を行った。施設はアングルで長さ二米、幅一・三米、高さ一・三米の箱枠をつくり五〇センチの足をつけ棒に五ミリのもの網をつけて上に一米のナイロンネットをつけて海中養成した。底網が破れた結果をみるに至らなかった。又ホタテガイ垂下養殖試験を行なったが良好結果を得ないまま現在に至っている。尚、活動面における今後の課題は役員と一般会員の連絡を密にし、集会の円滑化を図る。しかし組合の支援と先取委員の指導により増養殖として栽培漁業の必要性も認識されて来た。これらへの試験研究への意欲も大きく育っている。

四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

漁獲物の活魚蓄養について

浜口と港内の海水汚濁は増は漁船内に積込んである約一トンの木製水槽で酸素供給を行なう。従って昭和四二年に比べて当初海来、漁獲物の鮮度保持に困水のみで実施したが効果がする蓄養問題を主体に取組現在行っている活魚方法

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

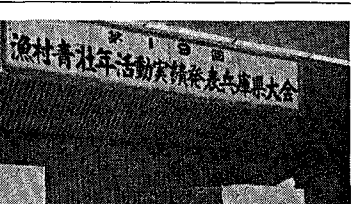
沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)

沖合ノリ養殖試験の体験
森漁業協同組合長 森 吉一
四十四年〜四十五年恒り沖合ノリ養殖試験を行なったが距離二五〇〇米、水深六十五米の海域での作業は危険が多く航行船舶による障害もあり困難を極めた。二基のセツトは森漁協と飯屋漁協において管理し第一年度は沖合養殖の技術試験はセツト構であるが浮標の光が弱造上の試験、経営が成立していると、ハクロ時(夜明)



タイ延縄巻揚機 製作について

沿岸し本釣漁業は自動イカ釣機を利用し手巻機、無縁 魚探等を装から機械巻に切り替えることにより省力化を図った。従ってタイ延縄自動イカ釣機はイカ釣具を上下させたり漁具の長さ五変しなくこれは漁法を調整し一定に保つため二本のネジ棒とクラッチを利用するが延縄では一定方向に巻き上げれば良いのでこの部分には必要なし。改良した巻揚機は小さい歯車を中心シャフトからベルトで駆動させ、それにより三方が回転する間を巻き合う大きな歯車をまわし回転を伝達する。この大きな歯車のシャフトの先に木製のドラムをつけた簡単なものでこれを左舷トモの舷側に設置する。シャフトは各々ベルトで接続されメーカエンジンの回転を巻揚機に伝える。

タイ延縄巻揚機 製作について
伊藤 久一
自動イカ釣機を利用し手巻機、無縁 魚探等を装から機械巻に切り替えることにより省力化を図った。従ってタイ延縄自動イカ釣機はイカ釣具を上下させたり漁具の長さ五変しなくこれは漁法を調整し一定に保つため二本のネジ棒とクラッチを利用するが延縄では一定方向に巻き上げれば良いのでこの部分には必要なし。改良した巻揚機は小さい歯車を中心シャフトからベルトで駆動させ、それにより三方が回転する間を巻き合う大きな歯車をまわし回転を伝達する。この大きな歯車のシャフトの先に木製のドラムをつけた簡単なものでこれを左舷トモの舷側に設置する。シャフトは各々ベルトで接続されメーカエンジンの回転を巻揚機に伝える。

タイ延縄巻揚機 製作について
伊藤 久一
自動イカ釣機を利用し手巻機、無縁 魚探等を装から機械巻に切り替えることにより省力化を図った。従ってタイ延縄自動イカ釣機はイカ釣具を上下させたり漁具の長さ五変しなくこれは漁法を調整し一定に保つため二本のネジ棒とクラッチを利用するが延縄では一定方向に巻き上げれば良いのでこの部分には必要なし。改良した巻揚機は小さい歯車を中心シャフトからベルトで駆動させ、それにより三方が回転する間を巻き合う大きな歯車をまわし回転を伝達する。この大きな歯車のシャフトの先に木製のドラムをつけた簡単なものでこれを左舷トモの舷側に設置する。シャフトは各々ベルトで接続されメーカエンジンの回転を巻揚機に伝える。

タイ延縄巻揚機 製作について
伊藤 久一
自動イカ釣機を利用し手巻機、無縁 魚探等を装から機械巻に切り替えることにより省力化を図った。従ってタイ延縄自動イカ釣機はイカ釣具を上下させたり漁具の長さ五変しなくこれは漁法を調整し一定に保つため二本のネジ棒とクラッチを利用するが延縄では一定方向に巻き上げれば良いのでこの部分には必要なし。改良した巻揚機は小さい歯車を中心シャフトからベルトで駆動させ、それにより三方が回転する間を巻き合う大きな歯車をまわし回転を伝達する。この大きな歯車のシャフトの先に木製のドラムをつけた簡単なものでこれを左舷トモの舷側に設置する。シャフトは各々ベルトで接続されメーカエンジンの回転を巻揚機に伝える。

水産4Hクラブの活動
飯屋水産4Hクラブ
当クラブは昭和二十六年のエビ類の漁獲高の推移をみるに、いずれの漁場でもニール等が入り始めて三年位すると漁獲が激減している。エビ類の減少の原因はニール公害以外にもある研究したい。エビ類の減少は、小型機船底網漁業の運命にかかわるため私達は漁場と生活を守るため、今後この事業を継続した

水産4Hクラブの活動
飯屋水産4Hクラブ
当クラブは昭和二十六年のエビ類の漁獲高の推移をみるに、いずれの漁場でもニール等が入り始めて三年位すると漁獲が激減している。エビ類の減少の原因はニール公害以外にもある研究したい。エビ類の減少は、小型機船底網漁業の運命にかかわるため私達は漁場と生活を守るため、今後この事業を継続した

水産4Hクラブの活動
飯屋水産4Hクラブ
当クラブは昭和二十六年のエビ類の漁獲高の推移をみるに、いずれの漁場でもニール等が入り始めて三年位すると漁獲が激減している。エビ類の減少の原因はニール公害以外にもある研究したい。エビ類の減少は、小型機船底網漁業の運命にかかわるため私達は漁場と生活を守るため、今後この事業を継続した

そでいか釣漁法の擬餌の研究
柴山水産研究会
近時日本海における磯釣漁獲を得た実績により順次各船に普及し、現在全船が擬餌により操業している。一方擬餌は釣上時にイカが外れ易い欠点があり、道米、針の大小、擬餌の長さ、布、線の種類、堅さ等を種々検討した。特に針の位置、擬餌の長さによる影響が大きいとみて改良を加えた結果、釣針は一母位、擬餌は十五から二〇センチが最適で殆ど外れることがなかった。擬餌の改良については更に餌付きをよくするためにどうするか、イカに長く目立つ餌、抱きつき易い餌等今後の課題も

そでいか釣漁法の擬餌の研究
柴山水産研究会
近時日本海における磯釣漁獲を得た実績により順次各船に普及し、現在全船が擬餌により操業している。一方擬餌は釣上時にイカが外れ易い欠点があり、道米、針の大小、擬餌の長さ、布、線の種類、堅さ等を種々検討した。特に針の位置、擬餌の長さによる影響が大きいとみて改良を加えた結果、釣針は一母位、擬餌は十五から二〇センチが最適で殆ど外れることがなかった。擬餌の改良については更に餌付きをよくするためにどうするか、イカに長く目立つ餌、抱きつき易い餌等今後の課題も

そでいか釣漁法の擬餌の研究
柴山水産研究会
近時日本海における磯釣漁獲を得た実績により順次各船に普及し、現在全船が擬餌により操業している。一方擬餌は釣上時にイカが外れ易い欠点があり、道米、針の大小、擬餌の長さ、布、線の種類、堅さ等を種々検討した。特に針の位置、擬餌の長さによる影響が大きいとみて改良を加えた結果、釣針は一母位、擬餌は十五から二〇センチが最適で殆ど外れることがなかった。擬餌の改良については更に餌付きをよくするためにどうするか、イカに長く目立つ餌、抱きつき易い餌等今後の課題も

小型操縦士指定講習会

小型船舶操縦士指定講習会は去る二月一日より淡路町を皮切りに一斉に開講した。本県の指定講習は全国に先がけ、実施されたため複雑な事務処理と従来の臨時講習及び試験の相違が組合員に充分理解されず定員の確保さえ案外なされた。

六月までに一人でも多く受験者と県漁連では総力を挙げ指導にあたったが前例のない講習の実現には苦勞談失敗談も数知れないが県、漁協の理解を得て二月一日先ず淡路町臨時講習所が開講した。

前日の身体検査に合格した受講生は明治・大正組が過半数を占め僅かに戦後っ子を含む七〇人が集結し二日初日を迎えた。講習は二人の指定講師が講習と審査にあたり共に受講生の可否の全権を握っていることは従来との大きな相違であり、従って所定のテスト



熱心に受講する漁師さん(淡路町公民館で)

三地区一五四名合格

ト(四回)の成績以外に出るを真面目さと根性を乗り切り席点(三十分単位で減点)り全員揃って合格したので受講態度等総てが採点に加味される。

従って講師も受講生も真剣そのものの講習会であった。岩屋での成果は指導援助にあたった私達の大きな励みとなり二月十一日から

2月の漁況と海況(内海側)

●海況

1~3日播磨灘で実施した海洋観測結果では、北東部海域で7~8℃台、その他の海域8.5~9.5℃の水温値を示したが、全域にわたっての各層水温差は前月に引続きほとんど変わらない。これを平年に比較すると北東部海域の一部で1~1.5℃低目でその他の海ではほぼ平年並かやや低目、また5~6日における大阪湾では北東部海域で7~8℃、中部で8~8.5℃、南西部で9~10℃を示して播磨灘同様各層の水温度はほとんどみられず、平年比較では湾全域表・中層で0.8~1.3℃、特に南西部海域の友ヶ島寄りでは底層で2.0℃内外それぞれ低目に推移した。一方17~18日に実施した紀伊水道北部の海洋観測結果では東部海域で表・中層10~10.3℃、底層10.4~11.4℃を示して平年並、中部海域で表・中層10.4~10.7℃、底層11.0~12.3℃、西部海域で表・中層9.4~9.6℃、底層9.9℃を示し共に平年より0.3~1.0℃高目に経過している。

●漁況(概況)

前月に引き続き魚場図A印で示す海域では、また南部ではワカメの摘取りで活況を呈しているが、反面漁船漁業は前月に引続き極めて低調である。現在漁船漁業の主な対象魚については明石瀬戸とその東部海域では、イカナゴ親魚、カレイ、アイナメ、カサゴ、メバル、アナゴ、イイダコなど、淡路南部海域では、ナゴヤフグ、エソ、キス、ハゼ、シヤコエビ、エビ、ハゲ、タイ、コノシロ、アナゴ、ウシノシタなど、淡路西浦海域では、カレイ、イイダコ、キス、ナゴヤフグ、エソ、グチ、ハゼなどが各海域で操業する小型底曳一本釣、建網などの主対象魚となっている。また、各地に先がけて岩屋地区では今月16日よりイカナゴ親魚(フルセ)を対象としたパッチ網、船曳網、込網網、27日には福良地区でイカナゴ新仔対象の込網網などの操業を開始したが、本年のフルセ漁は、比較的好調なスタートを切っている。

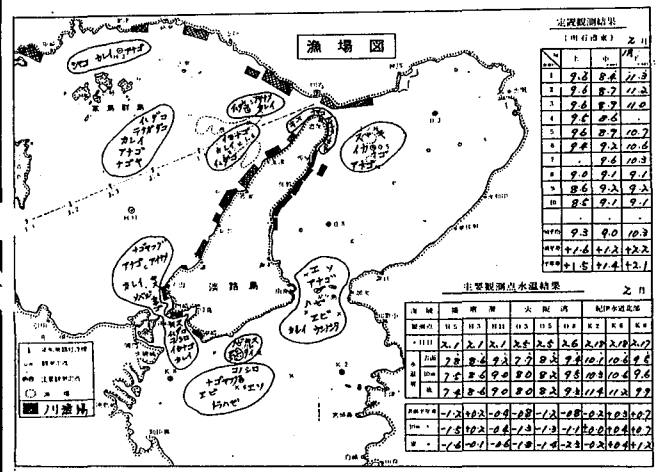
●各地

- ※明石浦 小型底曳イイダコ30~40キロ@手持400~500円、スゴ 200円、アイナメ10キロ@1,000円、カレイ類3~5キロ@1,200円、10隻。ブンチン洲イイダコ30~40キロ、カレイ類5~10キロ5隻。アイナメ一本釣7~8キロ@1,000~1,300円。スズキ一本釣3~5キロ@1,500円各30隻。
- ※岩屋 イカナゴフルセ船曳網1,200~1,500キロ@110円6統。イカナゴフルセパッチ網1,000~1,200キロ@30~35円22隻。イカナゴフルセ込網 800キロ@80~85円1統。アイナメ一本釣4~10キロ@1,200円40隻。アナゴ延縄100~170キロ@(大)700円、(小)300円(半々)26隻。磯曳網メバル10キロ@800円、アイナメ6~7キロ@900円15隻。カレイ延縄14~15キロ@820円5隻。キス流し網5~6キロ@800円3隻。ナマコ突棒5~6キロ@赤520円青200円3隻。
- ※沼島 小型底曳エソ100~250キロ@50円、ナゴヤフグ10キロ@200円、アナゴ7~10キロ@430円、キス10~20キロ@450円、トラハゼ3~5キロ@75円、小エビ5~7キロ@150円、シヤコエビ10~20キロ@70円、34隻。タイ一本釣5~10キロ@(大)3,200円(目廻り1.5キロ以上)(中)2,000円、(小)1,500円(500g以下)3隻。キス一本釣5~12キロ@600円50隻。ハゲ一本釣10キロ@200~500円2隻。アナゴ延縄15~30キロ@350~400円2隻、突棒ナマコ10~30キロ@赤250円、青60円、アワビ5~8キロ@550~1,000円、サザエ15~25キロ@250円15隻。八田網アジ200キロ、@250円、コノシロ100キロ@120円、サバ350キロ@50円、2統。
- ※福良 小型底曳網メイトカレイ、アマカレイ5キロ@800円、アイナメ3キロ@1,000円、ウシノシタ3キロ@400円、イイダコ2キロ@340円、オコゼ1キロ@1,000円、29隻。キス流し網12キロ@580円3隻。イカナゴ新仔込網200キロ@1,000円、7統。
- ※丸山 キス曳網50キロ@400円8隻。メイトカレイ曳網30~40キロ@1,400円20隻。ナゴヤフグ曳網50キロ@400円6隻。アナゴ延縄50キロ@420円18隻。

●今年のカナゴ新仔見込みについて

※稚仔の分布状況
稚仔の採集点数は昨年とはほぼ同数で、採集時期も大差ないが、今年は播磨灘、大阪湾とに入網しない測点がみられた。産卵盛期は昨年より早く、12月中旬と推定されたが、2月上旬に採集された稚仔の大きさも昨年より大きい。しかしその分布状況は、播磨灘では北西域に重心があり、同域中部にBlank域がみられるとともに、大阪湾での採集数もごく少ない。したがって、今年の稚仔はふ出盛期(1月上~中旬)の拡散が悪く、淡路島北東域の発生主群は大阪湾へ十分移行せず、また播磨灘へは、同灘西部発生群の添加が少ないうえである。

※当才魚の予測
稚仔発生量に関する諸要因を総合すると、今年当才魚の発生量は例年以下と考えられる。産卵盛期や稚仔体長組成からみて漁期は昨年よりやや早い可能性はあるが、量的には期待薄である。しかし近年はハマチ餌料としての需要が大きいので、5月に多獲されるが、漁期は昨年より短期と思われる。(水試岩井)



第十七回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会開催される



各助言者からの講評

全国の漁村青壮年および改良や経営、生活の合理的な活動グループは、その数二九改善を努力しており、その活動の向上発展に大きく寄与してまいりました。本年は第十七回目の全国漁村青壮年活動実績発表大会が、今年におけるグループ活動の健全なる育成とその発展に資するため、全漁連主催・水産庁後援により二月二二・二三日の二日間、いわたり日本都市センターで開催された。

発表グループはあらかじめ水産庁、全漁連で選考され、本県からは兵庫県大会で推せんされた柴山水産研究会クラブが「但馬のソノイカ釣漁業の概観」の研究について、漁業分科会に出場した。

実績発表は漁業、増殖、経営の三分科に分れて第一日は発表、第二日は討議が行なわれた。各会場とも二日間わたり熱心な参加者で溢れるばかりの盛況であった。

漁業部門では「四グループが出場し、網・釣漁業について漁民、漁法の最も研究に属するものが最も多化の問題がこれに続いた。研究討議も熱心に行なわれ、ソノイカ釣漁業の概観の研究については活発な質疑応答が続けられ、ソノイカの性質、回遊状況等については今後とも一層深く掘り下げた試験研究に俟たねばならないが、本県水試岩井分場の名角技術員現任までの研究成果について詳細説明し参加者に感銘を与えた。

増殖部門では「二グループが出場し今年度生産が順調であるという養殖に関する研究が例年通り多く畜養員類発表がこれに続いた。助言者の先生より畜養員類発表については討議が行なわれた。各会場とも二日間わたり熱心な参加者で溢れるばかりの盛況であった。

経営部門では「三グループが出場し、網・釣漁業について漁民、漁法の最も研究に属するものが最も多化の問題がこれに続いた。研究討議も熱心に行なわれ、ソノイカ釣漁業の概観の研究については活発な質疑応答が続けられ、ソノイカの性質、回遊状況等については今後とも一層深く掘り下げた試験研究に俟たねばならないが、本県水試岩井分場の名角技術員現任までの研究成果について詳細説明し参加者に感銘を与えた。

増殖部門では「二グループが出場し今年度生産が順調であるという養殖に関する研究が例年通り多く畜養員類発表がこれに続いた。助言者の先生より畜養員類発表については討議が行なわれた。各会場とも二日間わたり熱心な参加者で溢れるばかりの盛況であった。

経営部門では「三グループが出場し、網・釣漁業について漁民、漁法の最も研究に属するものが最も多化の問題がこれに続いた。研究討議も熱心に行なわれ、ソノイカ釣漁業の概観の研究については活発な質疑応答が続けられ、ソノイカの性質、回遊状況等については今後とも一層深く掘り下げた試験研究に俟たねばならないが、本県水試岩井分場の名角技術員現任までの研究成果について詳細説明し参加者に感銘を与えた。

待望の魚探機誕生
皆稱の大漁を御約束する
小型から中型までの万能魚探機
MODEL-Z-3型 A,B,C,D
二層波魚探機も出ます

海上電機株式会社
本社 神戸市東灘区 出船町2-2
電話 2954-7301

昭和四五年年度 漁村青壮年研修会開催される

(浜坂・尾崎)

恒例の漁村青壮年研修会(一泊研修)が、但馬は豊岡農林事務所、淡路は洲本農林事務所の主催で、夫々次のように開催された。両研修会とも各漁協の水産研究会のリッダーが多数参加し、終始熱心に研修を受け、終了後は兵庫県青少年局からリッダー手帖ならびにバッチが交付された。

内容) 漁業と公害について、淡路開港基本構想について、四五年度ノリ生産と流通、ノリ加工と検査について、今年度のイカノリ漁況予報、ノリの病気にについて、時事解説

時事解説 研究発表発表 先進地視察報告 (淡路地区) 三月二日、三日 津名部一宮町、のりセンター

ベントス

海底をはいまわるか、または海底に定着するか、潜って生活する生物のことで、ゴカイ、エビ、カニ、ヒトデ、ウニ、貝類など非常に種類が多い。これらの種類は海の深さによって変化するとともにその分布にはいろいろな複雑な環境条件が影響するが、とくに底質は重要な条件になっている。底質が異なると生息するベントスの種類が異なるので砂質底生生物、泥質底生生物などと区別されることもある。底生生物は殆んどものが底層魚ならびに底層魚の餌として重要なもので、毛虫類の多い浅海区域は各種の沿岸漁業の好漁場になっている。従って魚礁調査等ではこのベントス調査は省くことができない項目の一つである。また最近ではベントスの研究もすめられ底質の汚濁状況と生息する底生生物の関係を究明されつつあり、海底の汚濁度を示す指標となる種類もだんだん判明し、汚濁調査の面でも重要なものとなってきた。(管)



魚の顔

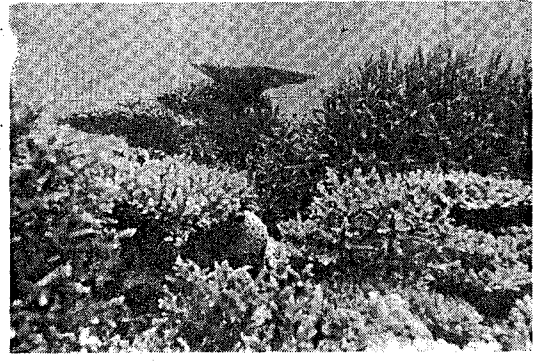


沖繩の印象

沖繩の印象―それは、私にとってはサンゴ礁の一言に尽きる。 過日の新聞に興味深い記事が載っていた。沖繩が本島に復帰すれば関税面での妙味がなくなるので、今のように入国製品が安く買えない、したがって観光客が沖繩に行かなくなるだろうと言っている。沖繩をその程度にしか評価してない人が多いに驚かされた。事実、私の知人では、本島復帰まで早く行くかねばと、買物が主な目的で何度も沖繩に行っている人がいる。それはそれで良い。しかし、それでもサンゴ礁の魅力に触れた者なら、買物の魅力なんて全く取るに足らない、と感ずる

に違いない。 そもそも沖繩本島は、サンゴ礁が海面上に顔を出した、いわゆる隆起サンゴ礁であり、最も見事なものであり、最も食用にははじめてきたが、食用にはならない小型のものばかりである。大きい魚は二十メートル以上の深さには住まないので、サンゴ礁の頂上の浅い所は水深三メートル程度であり、魚の多いのはやはり五メートル以内で、十メートル前後が魚の種類も豊富である。最も見事なものであり、最も食用にははじめてきたが、食用にはならない小型のものばかりである。大きい魚は二十メートル以上の深さには住まないので、サンゴ礁の頂上の浅い所は水深三メートル程度であり、魚の多いのはやはり五メートル以内で、十メートル前後が魚の種類も豊富である。

湖上側に多い傾向がある。潮の流れるのは、波も荒い。このような場所では、移動し、或は斜めに進んでいく傾向がある。群をなすことも多い。群をなすものは、サンゴ礁に添って横の方向に移動してゆく傾向がある。強い。また、余り移動せず、姿、色彩の見事さは、写真に、テンプルサンゴの下にかくれ、出たりはいったり感してその真の価値を見出すことができない。同時に、この美しさを破壊しないよう大切に願っている。そして、最後に夜の沖繩も少し覗いてみよう。宿舎も少し余りである。またその料金も安い。本島の半分とすれば良い。那覇の国際大通りから、チョット横道に歩けば、スナックがひしひしと並んでいる。和服姿の沖繩美人が店の前に立ち袖を引く。若いサンゴと云う名前に気がいった。店の中は、本土とは全然とらなな。しかし、その値段が信じられない程安い。ジョージアがドール。パーテンが五年前以前に大阪で買った。居たことがあるとかで、しばしば本土の話に花を咲かせ、チョッピリ異国情緒を味わった。 兵隊島立水産試験場 界 吉久



海底の神秘を演出するサンゴ礁

鶴潮廿四光

(13) 日野社長さん

この稿を書くにあたって是非社長さんにお会いしたかったが、歌の文句がでない。今日は東よ、明日は西という多忙な社長さんにお目にかかれなかつたのが残念。 けれど兵隊養殖、大目水産の社長さんとして、その豪放磊落な人となり、事業に体あたりてゆくファイトと、かわり身の妙味を心得た実行力は頼もしい極みで、航けない海があるか、話にうまさや上手さがないといえは大変失礼だが、そのとつとつし、社長さんの行動をみて、こんな教訓が聯想される。

それを、 社長さん、その旺盛なパイオニア精神は宮崎の宮の浦に三ヶ所、分は津久見に三ヶ所と淡路の由良に養魚場を持ち放流数実に百数十万に及ぶという偉容をほころび養殖業も、そのスタートは社長みずから真っ裸になつて従業員は先頭にあつて俯づけをなさつたという。 だが我が子への愛情でもって育てたハマチがその年も、また次の年も台風による大打撃により、由良だけでいえば必ずしも採算性は思はずくないけれど、これがよい試験になり、これがよい試験になり、今日この兵隊養殖、こんなふうには感じられる人間になりたいと身のひきまら思をしたこと。 (46・3・3)

YANMAR DIESEL ENGINE 漁場と市場を結ぶ! (新製品) ●PM形/3馬力~4馬力 ●T形/10馬力~20馬力 ●船舶主機関 3~800馬力 ヤンマーディーゼル ヤンマーディーゼル株式会社

神戸赤ディーゼル (使う身になって作る赤機械) ●舶用主機関 ●低速4サイクルディーゼル 240~1,600馬力 ●中速ディーゼル 650~700・1,300馬力 ●三菱2サイクルディーゼル 1,500~8,200馬力 各種 ●N623RS350PS. (低速機、全長3.9米) 神戸発動機株式会社 本社及工場 神戸市兵庫区須佐野通8丁目10 TEL (078) 5031~6 支店及出張所 長崎(工場及支店) 東京、下関、北海道、仙台、今治

海苔養殖の頼もしい担い手 カルクレモナ 海苔網 (冷蔵網) クレモナから海苔網 富士山式クレモナ海苔網 タイフククレモナ海苔網 フミカ式クレモナ海苔網 ヒラタのクレモナ海苔網 クレモナなし海苔網 クレモナまるよう海苔網 クレモナせと海苔網 クレモナブゼン海苔網 クレモナスラン海苔網 クレモナケンモウ海苔網 クレモナ光興海苔網 (順不同)